

登録研修機関業務規程

登録番号	2710037	事業所名称	学校法人 日本福祉大学	
所在地	〒470 -3295 愛知県美浜町大字奥田字会下前 35 番 6			
連絡先・ 相談窓口	所 属	大阪サテライト	職 氏 名	専任職員 亀山哲也
	電話番号	06 (6468) 2400	FAX 番号	06 (6468) 2401
	E-mail	osaka@ml.n-fukushi.ac.jp		

※太線内を記入すること。

1 研修の内容

①開講の目的	平成 24 年度から施行の介護職員等によるたんの吸引等の制度化について、特別養護老人ホーム等の施設等において、必要なケアをより安全に提供するため、適切にたんの吸引等をおこなうことができる介護職員等養成を目的とする			
②研修の名称	介護職員等によるたんの吸引等研修事業 (第 1 号研修、第 2 号研修・不特定多数の者対象)			
③研修の課程 ※実施予定の 課程に○を記 入すること。	○	第 1 号研修 (喀痰吸引及び経管栄養のすべて)		
	○	第 2 号研修 (喀痰吸引及び経管栄養の行為のうち任意の行為)		
		第 3 号研修 (各喀痰吸引等行為の個別研修)		
④実施の期間	別紙の通り			
⑤研修の講師	別紙の通り			
⑥実施の場所	講 義	大阪サテライト 大阪市此花区西九条 3-4-41		
	演 習	大阪サテライト 大阪市此花区西九条 3-4-41		
	実 習	宇治病院 (京都府 宇治市 五ヶ庄芝ノ東 54-2) など		
⑦定 員	20 名			
⑧受 講 料	金 額	第 1 号研修	A 基本研修+自身で実地研修を手配 95,000 円 (税込み・テキスト代別) B 基本研修+本学に実地研修仲介を依頼 140,000 円 (95,000 円+事務手数料 45,000 円)+20,000 円×実地研修 5 行為 (税込み・テキスト代別) C 基本研修をいずれかの機関において修了済で実地研修のみ本学に仲介依頼 45,000 円 (事務手数料) +10,000 円 (特別演習料※1) +20,000 円×実地研修 5 行為 (税込み) D 基本研修をいずれかの機関において修了済で実地研	

			修のみを自身で手配した実地研修先で行う場合 一律 20,000 円（事務手数料）
		第 2 号研修	A 基本研修+自身で実地研修を手配 95,000 円（税込み・テキスト代別） B 基本研修+本学に実地研修仲介を依頼 140,000 円(95,000 円+事務手数料 45,000 円)+20,000 円×実地研修科目数（税込み・テキスト代別） C 基本研修をいずれかの機関において修了済で実地研修のみ本学に仲介依頼 45,000 円（事務手数料）+10,000 円（特別演習料※1）+20,000 円×実地研修科目数（税込み） D 基本研修をいずれかの機関で修了済みで実地研修のみを自身で手配した実地研修先で行う場合 一律 20,000 円（事務手数料）
		第 3 号研修	
		支 払 方 法	口座振り込み
		解約条件・返金の有無	・受講票発送後の、受講者都合によるキャンセル・返金には応じない。 ・受講途中に大阪サテライトならびに実地研修実施機関の判断で受講中止を決定した場合、入金した金額（受講料）から事務手数料及び基本研修受講者の場合はその金額の 50%以外を返金する（振込手数料は受講生負担とする）。

※1 特別演習の開催日は、別紙記載講義日程の「7 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説」及び「9 高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説」にご出席いただきます。

2 受講資格・受講の手続き

① 受講資格	① 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、グループホーム、有料老人ホーム、障害者（児）施設等（医療施設を除く）、居宅サービス事業所等に勤務の介護職員等（介護福祉士を含む）の方で、たん吸引等を必要とする利用者がいる等、業務上本講習受講が必要で、所定のカリキュラムをすべて受講できる方。 ② 介護福祉士で、所定のカリキュラムをすべて受講できる方。	
③ 申込方法	募集要綱にもとづき、所定の申込書類を期限までに大阪サテライトへ郵送すること。受講料入金をもって正式決定とする。	
① 申込先	日本福祉大学 大阪サテライト	
② 受講決定	申込書類の内容にもとづき、定員設定にかかわらず、実地研修の受け入れ状況や、研修受講の必要性等を勘案した上で、選考をおこなうものとする。申込み受付後、受講料の支払が確認された時点で受講を決定する。	
③ 科目免除	免除の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無

	免除科目	<p>ア 基本研修</p> <p>イ 基本研修の演習のうち「口腔内の喀痰吸引」及び実地研修のうち「口腔内の喀痰吸引」</p> <p>ウ 基本研修（講義）、基本研修（演習）及び実地研修（下記対象者欄ウに記載の研修において実地研修を修了した行為に限る）</p> <p>エ 基本研修（講義）（筆記試験に合格した者に限る）、基本研修（演習）及び実地研修（下記対象者欄エに記載の研修において修了した行為に限る）</p>
	対象者	<p>研修の一部履修免除規程（以下参照）に準じる</p> <p>ア 介護福祉士の養成課程の中で、医療的ケア（実地研修を除く）の科目を履修した者</p> <p>イ 「特別養護老人ホームにおけるたんの吸引等の取扱いについて」（平成22年4月1日医政発第0401第17号厚生労働省医政局長通知）に基づくたんの吸引等を適切に行うために必要な知識及び技術に関する研修を修了した者</p> <p>ウ 平成22年度に厚生労働省から委託を受けて実施された「介護職員によるたんの吸引等の試行事業（不特定多数の者対象）」の研修（平成22年度老人保健健康増進等事業「介護職員によるたんの吸引等の試行事業の研修のあり方に関する調査研究事業」）を修了した者</p> <p>エ 「平成23年度介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修事業」の実施について」（平成23年10月6日老発第1006号第1号厚生労働省老健局長通知）に基づく研修を修了した者</p>
	申込方法	<p>規定する研修等を修了（履修）した証明書の写しを申込書に添えて提出すること（アは「成績証明書」ならびに科目シラバス、ウ～エは研修の「修了証明書」「履修証明書」の写しを添えて申し込む）</p>

3 受講上の注意事項

①遅刻・早退・欠席の取扱い	遅早	刻退	原則不可 ただしやむを得ない事情によるものと判断された場合は下記補講を課す
	欠	席	同上
②補講の実施	実施の有無		有 ・ 無

	補講の方法	<p>【基本研修】 講義：別課程の講義（別途日程を定める）に参加する。（要補講料） 演習：本学主催での別グループの演習に参加 演習不合格で補講の場合には、別途日程を定める本学主催の演習学習会に参加の上で補講を受ける（要補講料・要演習学習会参加費） 筆記試験追試日：別日程を設定し筆記試験を実施（要追試験料） ただし筆記試験は原則として1回限りとする</p> <p>【実地研修】（仲介の場合のみ） 登録研修機関（大阪サテライト）と実地研修先との間で定める実地研修日程（概ね1行為5日間以内）を超えた場合、1日単位で追加（要補講料）</p>
	補講の費用	<p>【基本研修】 講義：欠席時間数（0.5時間単位）×1,000円 演習：1科目（行為）につき10,000円 演習学習会：1科目（行為）につき10,000円 筆記試験追試験料：1回5,000円</p> <p>【実地研修】（仲介の場合のみ） 実地研修：追加1日につき5,000円</p>
	注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然災害等不測の事態により研修が中断された場合は、予定修了期日までに補講日を設定し、補講をおこなう ・ 同上の理由にて延期の場合は、開講時期を明確にして早期に研修を再開する ・ 苦情等相談時の連絡先は、日本福祉大学大阪サテライト 担当（TEL:06-6468-2400FAX:06-6468-2401）とする

<p>③修了の取扱い</p>	<p>修了評価の方法</p>	<p>【基本研修】 講義 ①講義終了後の筆記試験の実施により、総得点の9割以上得点者を合格とする ②筆記試験の追試験は、原則1回限りとし、追試験を実施しても合格できない場合には、受講中止を指示する（あらかじめ受講登録を行い、講義を受けなおすことを前提とする） 演習 ③全ての行為ごとに定められた実施回数（5回）以上の演習を実施した上で、評価票の全ての項目についての講師の評価結果が、「介護職員によるたんの吸引及び経管栄養のケア実施の手引きの手順どおりに実施できている」となった場合に、演習の修了を認める ④演習の実施回数は各行為とも、いずれも最大9回までとし、9回を超えても合格できない場合には演習の補講を指示する ⑤演習の補講を受けるためには別途「演習学習会」の受講を義務づける ⑥演習の補講においても③の評価基準を準用し、各行為とも最大9回まで実施するが、9回を超えても合格できない場合には受講中止を指示する（あらかじめ受講登録を行い、講義を受けなおすことを前提とする）</p> <p>【実地研修】 ①各ケアの種類ごと、実施回数以上の実地研修を実施した上で、評価票のすべての項目についての医師または指導看護師等の評価結果が、「介護職員によるたんの吸引及び経管栄養のケア実施の手引きの手順どおりに実施できている」となった場合であって、次に掲げる基準をいずれも満たす場合に修了を認定する 一 当該ケアにおいて最終的な累積成功率が70%以上であること 二 当該ケアにおいて最終3回のケアの実施において不成功が1回もないこと</p>
	<p>修了認定の方法</p>	<p>平成27年4月1日施行の社会福祉士及び介護福祉士法施行規則の一部改正に基づき、 第二号研修は、修了した実地研修ごとに研修修了の認定を受けることができる。 受講生がのちに追加の実地研修を受講する際、基本研修や演習、修了済の実地研修について一部履修免除ができる。</p>
<p>④受講の取消し</p>	<p>次に該当する者は、受講の決定を取り消すことがある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遅刻、早退、欠席の甚だしい者 ・受講態度不良の者 ・実施研修機関が不適格とみなす者 	
<p>⑤修了証の再発行</p>	<p>・紛失等の場合は、受講生本人の申し出により再発行する。なお、再発行手数料として2,000円を徴収する。</p>	

4 安全管理・秘密保持

①研修委員会の設置	研修に実施及び修得程度の審査を公正かつ適正に行うための体制として、連携する医師、研修講師、経理担当者等により構成される「喀痰吸引等研修実施委員会」を設置する。
②安全管理のための体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実地研修の実施にあたっては、「実地研修実施要綱」を整備し、実地研修をおこなう全ての施設へ配付・周知する ・ 実地研修の実施にあたっては、医師による実地研修指示書の取得を行う ・ 実地研修での万一の事故に備え、受講者全員に損害賠償保険への加入を義務付けるものとする（保険期間は演習修了日の翌日から1年間とし、この期間の保険料は受講料に含む。保険期間を超えて実地研修を実施する場合は、保険期間満了日までに保険の更新等必要な手続きを行う。また、その期間における保険料は原則受講生本人が負担する。）
③業務に関して知り得た秘密の保持	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修事業運営上知り得た受講者に係る秘密は厳守する ・ 研修受講者が実習等において知り得た個人の秘密を他に漏洩しないよう、十分な事前及び事後指導を行うものとする
④帳簿及び書類の保存	喀痰吸引等登録研修機関に係る申請書、届出書及び添付書類並びに修了者管理名簿等の関係帳簿類は永年保存とし、施錠管理できるキャビネット等で保管する。登録研修機関を廃止する場合は、修了者管理名簿を大阪府に引き継ぐものとする。

平成30年度 第1回 日本福祉大学大阪サテライト主催 たん吸引等研修

研修日程表

(講義・演習は大阪サテライト予定)

1. 基本研修

1) 講義(計50時間+筆記試験)

日時(予定)	講師名	科目	時間数
第一日目 7月18日(水) 10:00 ~ 18:30	事務局	開講オリエンテーション	
	大宮	1 人間と社会	
		①介護職員と医療的ケア	0.5
		②介護福祉士等が喀痰吸引等を行うことに係る制度	1
		2 保健医療制度とチーム医療	
		①保健医療に関する制度	1
		②医療的行為に関係する法律	0.5
	鮫島	③チーム医療と介護職員との連携	0.5
		3 安全な療養生活	
		①喀痰吸引や経管栄養の安全な実施	2
	②救急蘇生	2	
	計	7.5	

日時(予定)	講師名	科目	時間数
第二日目 7月19日(木) 10:00 ~ 16:30	大宮	4 清潔保持と感染予防	
		①感染予防	0.5
		②職員の感染予防	0.5
		③療養環境の清潔、消毒法	0.5
		④滅菌と消毒	1
	鮫島	5 健康状態の把握	
		①身体・精神の健康	1
		②健康状態を知る項目(バイタルサインなど)	1.5
		③急変状態について	0.5
		計	5.5

日時(予定)	講師名	科目	時間数
第三日目 7月25日(水) 10:00 ~ 18:00	大宮	6 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論	
		①呼吸のしくみとはたらき	1.5
		②いつもと違う呼吸状態	1
		③喀痰吸引とは	1
		④人工呼吸器と吸引	2
		⑥吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意	0.5
		⑤子どもの吸引について	1
	計	7	

日時(予定)	講師名	科目	時間数
第四日目 7月26日(木) 9:30 ~ 18:15	大宮	⑦呼吸器系の感染と予防(吸引と関連して)	1
		⑧喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認	1
		⑨急変・事故発生時の対応と事前対策	2
		7 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説	
		①喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持	1
		②(1/3時間)吸引の技術と留意点	1
		④喀痰吸引にともなうケア	1
	⑤報告および記録	1	
計	8		

日時(予定)	講師名	科目	時間数
第五日目 7月31日(火) 10:00 ~ 17:30	大宮	②(2/3時間)吸引の技術と留意点	2
		③吸引の技術と留意点	2
		8 高齢者および障害児・者の経管栄養概論	
		①消化器系のしくみとはたらき	1.5
			②消化・吸収とよくある消化器の症状
	計		6.5

日時(予定)	講師名	科目	時間数
第六日目 8月7日(火) 10:00 ~ 18:30	大宮	③経管栄養とは	1
		④注入する内容に関する知識	1
		⑤経管栄養実施上の留意点	1
		⑥子どもの経管栄養について	1
		⑦経管栄養に関係する感染と予防	1
		⑧経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意	0.5
		⑨経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認	1
		⑩急変・事故発生時の対応と事前対策	1
			計

日時(予定)	講師名	科目	時間数
第七日目 8月9日(木) 9:30 ~ 18:30	大宮	9 高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説	
		①経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持	1
		②経管栄養の技術と留意点	5
		③経管栄養に必要なケア	1
			④報告および記録
	計		8

日時(予定)	時間	科目	時間数
第八日目 8月10日(金) 10:00 ~ 15:15	10時~11時	筆記試験	1
	11時15分~12時45分 (予定)	救急蘇生(演習)	1.5
	13時45分~15時15分 (予定)	採点后結果発表・実地研修オリエンテーション	

※8月20日(月)

(予備日・筆記試験追試日)

※演習は8月21日(火)22日(水)を予定

2. シミュレータ演習

グループ	日程	時間	演習	担当講師			
A	8月21日(火)	各日9時30分～修了まで	たん吸引	大宮チズ子	鮫島博子		
	8月22日(水)		経管栄養	大宮チズ子	鮫島博子		
B	月日()		たん吸引				
	月日()		経管栄養				

演習予備日:8月31日(金)

※所属グループは本学で割り振ります。

【ご注意】

1. 所属グループは本学より指定しますので、必ず所定の日時にご参加ください。
日程・グループ変更には応じられませんので、予めご了承ください。
2. 開始時刻は会場の都合により変更の可能性があります。
3. 終了時刻(予定)は、各日17時前後を予定していますが、
演習の進行具合により変動することがありますので、予めご了承ください。
4. 実地研修は、上記演習終了後となります。

3. 担当講師(予定・50音順)

大宮 チズ子	社会福祉法人 キリスト教ミード社会館 講師 看護師
鮫島 博子	株式会社あまね あまね訪問看護ステーション 看護師

※講義・演習とも、担当講師は予告なく変更することがあります。

日本福祉大学大阪サテライト地図

